

10月のほけんだより



9月は長雨が続き、寒暖差もありましたね。咳や鼻水が見られるお子さんもいましたが、大きな感染症の流行はなく経過しました。しかし、油断は禁物!! 空気の乾燥に合わせ、様々なウィルスの活動が活発になります。手洗いうがい、適度な湿度を保ち、又、栄養と睡眠・休息をしっかり取るようにしましょう

10月10日は目の愛護デー

子どもの目を守るには、感染症やけがだけでなく、「見え方の異常」にも注意が必要です。



※携帯やタブレットなど狭い範囲の平面画像を見続けることは目の負担になります。

※また、乳幼児がテレビや動画などを長時間視聴する事が言語や社会性の発達につながると報告されています

家庭内で約束事を決め長時間の視聴は控えましょう



～正しいケアで目を守りましょう～

○前髪はすっきりと

長い前髪の毛先が目にあたり、目を傷つけたり発症を起こすこともあります。

○目やにが多いときは受診を

量が多い、すぐにたまる、黄色や緑色の目やにの場合は早目に受診しましょう

冬にはやりやすい感染症

夏には"手足口病"や"ヘルパンギーナ"などいわゆる"夏かぜ"の流行がありました。同様に秋～冬にかけて流行しやすい感染症もいくつかあります。(最近は季節を問わないものも含む)

◎RSウィルス感染症

・鼻水や咳などの症状で始まり呼吸時にヒューヒュー、ゼーゼーと音がする。

★乳児期の初めての感染は特に重症化しやすく入院が必要になる事もあり要注意



◎クループ症候群

・パラインフルエンザウィルスなどに感染しのどに炎症を起こすことで発症する

・発熱やのどの痛みから始まり犬が吠えるような甲高い咳が出る。息を吸うときにヒューヒューという音がする



◎溶連菌感染症

・A群溶血性連鎖球菌という細菌が原因

・高熱、のどのはれと痛み、頭痛、吐き気、発疹、舌先の赤いブツブツ(イチゴ舌)など様々な症状が見られる事がある

★抗生剤の内服が必要です、園での与薬は基本的にできませんので朝・夕2回の内服にしてもらうなど、医師に相談してください

◎インフルエンザ

・インフルエンザウィルスの感染によって発症するが、ウィルスにはいくつかの型があり、年によっても流行する型が違う。

・急激な発熱(40℃前後)、寒気、頭痛、関節痛などや吐き気、下痢などの症状が出現する事もあります。

★感染性胃腸炎については、11月のほけんだよりで詳しくお伝えします。

インフルエンザの予防接種を受けましょう!!

今年は夏からインフルエンザの流行がみられています、ワクチンを接種しても発症する事がありますが、症状や重な合併症を予防する効果が期待されます、こどもの場合、シーズンに2回接種が標準で接種後2週間以上経過しないと効果が表れない為、早目に受けましょう。



★卵アレルギーなどがある場合、受けられないこともありますので医師と相談してください。

◎インフルエンザに限らず、予防接種を受けた場合には母子手帳をお持ちください。コピーし、児童票に保管します。

内科検診のお知らせ

10/15(木) 9:00～ 内科検診を行います。

★お子さんの体調や成長、発達に関する事など気になっている事や聞いてほしい事があれば担任にお知らせください

★当日お休みの予定でも、内科検診のみ受ける事も可能です

◎8:50までに登園してください。

